

知って？



日本脳炎ワクチンは 生後6か月から接種できます

日本脳炎はワクチンで予防！ いつ、何回接種しますか？

早期接種可能年齢	1回目 6か月	2回目 7か月	3回目 1歳半			4回目 9歳～13歳未満	
標準接種年齢				1回目 3歳	2回目 6～28日後	3回目 1年後	4回目 9歳～13歳未満
公費接種可能年齢	第1期初回(=1回目・2回目)、第1期追加(=3回目) 生後6か月～90か月(7歳半) 未満					第2期(=4回目) 9歳～13歳未満	

標準接種は、3歳時に6～28日の間隔をあけて1回目と2回目を接種(第1期初回)し、3回目(第1期追加)接種は2回目から6か月以上おおむね1年後です。

- 日本小児科学会は、最近日本脳炎が発生した地域、豚の日本脳炎抗体保有率が高い地域に居住する小児等に対しては、生後6か月から日本脳炎ワクチンの接種を開始することを推奨しています。
- 静岡県では、2023年8月に、県内で蚊に刺され感染したと推定される日本脳炎患者が発生しています。豚の日本脳炎抗体保有率も高い地域となっています。
- 早期接種をご希望の方はお住まいの市・町(予防接種担当窓口)、お子様のかかりつけ医にご相談ください。

蚊は多くの病原体の運び屋です

日本脳炎 デング熱 ジカ熱 マラリア



蚊に刺されないために

外出時には虫よけ剤を使ったり、肌の露出をおさえた服装を心がけましょう。



蚊に刺されないための詳細は、QRコードをスマートフォンでチェック！

蚊の発生を防ぐ

バケツやじょうろのような水がたまる場所は、蚊が発生します。水がたまらないように、ちゃんとしましましょう。



屋外に放置された子供のおもちゃ

植木鉢の皿

雨ざらしのじょうろ